

ポンポン 新聞

[Ponpoko News]

第65号



=発行=

2016年10月23日

喜多見ポンポコ会議

www.ab.auone-net.jp/~ponpoko

どのように
決めていきますか?
新築だけでなく既存の戸
建・集合住宅も建物を維持
するために、十年から十数
年ごとに外壁や屋根を塗
装する機会があると思いま
す。皆さんはその色をど
のように決めていますか?
から「今の流行はこれ」「お
勧めはこれ」と言われるま
ま決めているでしょうか。

街並みへの影響

色は、色相(色合い)・明度
(明るさ)・彩度(鮮やかさ)
で分類することができます。それを表すのが「マンセル記
号」と呼ばれるものです。
暖色基調の街並みの中で
異なる色相を一定の面積
で用いると違和感が生じ
やすい、みだり豊かな場所
で明度が高くなりすぎると
と突出した印象を与える、
彩度の高い派手な色彩は
目立ちすぎて街並みの調
和や連続性を乱す、といつ
た影響があります。

そこで世田谷区は今年四
月、色彩の「手引き」をまと
め、色彩選定の考え方や
ノートを紹介しています。



今年度ポンポコは「喜多見
らしい風景をつくろう!」を
テーマに、私たち自身に無理
なく貢献できることはないか
と活動しています。建築物の
色彩は街並みに影響します
が、少しずつ修景可能な部分
でもあります。そこで、シリ
ーズ3回目の今回は、色彩に
焦点をあてて考えてみます。

協力：有限会社小川兼ハウス
(喜多見5-8-6、1940年創業)
参考：世田谷区『風景づくりの
手引き—色彩編』2016.4

喜多見の色彩

あまり知られていないま
んが実は、喜多見三丁九丁
全域が世田谷区の風景
づくり重点区域「水と緑の
風景軸」に指定され、「手引
き」には、この区域で使用
可能な色彩の範囲や代表
的な色彩例などが下図の
ように示されています。

塗り替えの際に整える

こうした基準はあるもの
の、届出対象は一定規模
以上ということもあります。
業者側は個人の好みを尊重
しなくてはと遠慮したり、
区外の業者は基準 자체を
知らない場合もあります。
喜多見五丁目で代々工
務店を営む小川兼ハウス
社長の小川始春さんは、
「色彩には時代の流行があ
ります。建売業者は売れる色か
どうかを優先しがちです。
塗り替えの際も世田谷区
の色彩基準を業者から紹
介することは無いのではな
いでしょうか。塗り替える
際に、色彩基準に準じて整
えていくことで少しずつ良
い町になってしまいます。皆
さんによつていていただける
良いですね」とのこと。

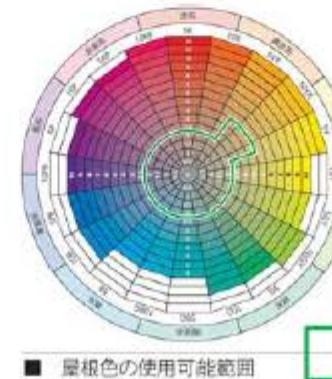
■色彩基準の考え方

- | | |
|-------|---|
| 外壁 | <ul style="list-style-type: none"> 区内で多く使用されている暖色系の色相を用い、統一感のある街並みとなるよう配慮する。暖色系以外の色相を使う場合は彩度を低くするよう配慮する。 緑の中から突出しやすい白系の色彩(明度8.5以上)を用いることは避ける。汚れの目立ちやすいパステルカラーの使用は避ける。 明度差(コントラスト)の大きい配色や複数の色相による配色などは街並みに違和感が生じやすいため、配色は明度差を5未満におさえた同系色を用いるよう配慮する。 中高層部は遠景からの眺望に配慮し、空と対比が大きい暗い色(明度4未満)を避け、彩度も低めにおさえるよう配慮する。 |
| 屋根 | 崖線上等からの眺望や周囲の街並みや樹木などとの調和を考え、 低明度、低彩度 の落ち着いた色彩を用いる。 |
| 緑との調和 | <ul style="list-style-type: none"> 周辺の樹木との調和を図るために、樹木の色彩(明度5、彩度6程度)より目立ちすぎないよう、明度および彩度の対比を和らげ、樹木と調和しやすい暖色系の色相を用いるよう配慮する。 花や新緑、落葉など、季節ごとの風景の変化を踏まえた色彩に配慮する。 |
| 素材 | 反射や光沢の強いものは避け、落ち着いた自然な表情の建材や塗料を用いるよう配慮する。 |

■使用可能な色彩の範囲



■ 外壁基本色の使用可能範囲



■ 屋根色の使用可能範囲



■ 風景づくりのイメージ

建築物の色彩

SYR	7.5YR	10YR	10YR	2.5Y	5.0Y
5.0YR8.0/0.5	7.5YR8.0/2.0	10YR8.0/0.5	10YR8.0/1.5	2.5Y8.0/1.0	5.0Y8.0/0.5
5.0YR7.5/1.0	7.5YR7.0/2.0	10YR7.0/1.5	10YR7.5/1.0	2.5Y7.0/1.5	5.0Y7.0/1.5
5.0YR6.0/1.0	7.5YR6.0/2.0	10YR6.0/1.0	10YR6.0/2.0	2.5Y6.0/1.5	5.0Y6.0/1.0
5.0YR5.5/2.0	7.5YR5.5/2.0	10YR5.5/1.0	10YR5.5/2.0	2.5Y5.5/2.0	5.0Y5.5/1.0

屋根の色彩

10R~5.0YR	5.0YR	7.5YR	10YR	2.5Y~5.0Y	その他
5.0YR6.0/1.0	5.0YR6.0/2.0	7.5YR6.0/2.0	10YR6.0/2.0	2.5Y6.0/1.0	5.0Y6.0/2.0
5.0YR5.5/1.0	5.0YR5.5/2.0	7.5YR5.5/2.0	10YR5.5/2.0	2.5Y5.5/2.0	5.0Y5.5/2.0

■ 代表的な色彩例

图表出典：世田谷区『風景づくりの手引き—色彩編』2016.4、他にも色彩選びのヒントが書かれていますが、基本は「周囲」と「自然」になじむことです。

上段：マンセル値
下段：日本塗料工業会標準色見本帳番号

みんな頑張ってます

柔道の西願寺さん



奥が、長女の保乃加さん、次女の里保さん
手前が、次男の颶さん、長男の哲平さん

喜多見小学校出身で兄弟姉妹みな柔道で活躍している子達がいると聞き、4人のお母さん、西願寺日加里さんにお話を伺いました。

きっかけ

お父さんの功一さんと高知のおじいちゃんが柔道をしていたことから、4人とも柏江にある池田道場に体験入部してみたことがきっかけで柔道を始めました。4年ほど通った後、柔道の総本山である講道館の少年部「春日柔道クラブ」に6年くらい通いました。

喜多見が大好き

4人とも喜多見小学校を卒業し、世田谷区内の公立中学校に柔道部がほとんどないことから、保乃加さんは喜多見中に3年間、里保さんは中1まで、哲平さんと颶さんは中学から埼玉栄中学校に通いました。今、上の3人は学校の寮に入り、中1の颶君だけがほぼ始発に乗り夜遅く帰るという生活を送っています。

4人とも喜多見が大好きで、帰つてくるたびに「やっぱり喜多見は落ち着く」「喜多見は空気が違う」と言うそうです。良い意味で田舎臭く、昭和チックで、地域の目があるところが気に入っているようです。

お母さんは大変だ

4人そろって家にいたときは、1食あたりお米8合で月40kg、たとえば唐揚げだと1食で4kg分くらいを揚げ続ける、柔道着は多いと一日に10着、洗濯機を1日6回も回し、洗濯機はすぐ壊れてしまうし、梅雨時は乾かないし、日加里さんは朝から晩まで洗濯して料理して一日が終わるという状況だったそうです。

今のところ大きな怪我はなく、日加里さんは、「とにかく怪我無くしてくれればそれで良いんです」と、期待より心配のほうが大きいようです。

怪我無く…でもやっぱり4年後に期待しちゃいます。ガンバレ～西願寺！

主な成績(年度)／＊は全日本強化選手

西願寺保乃加	帝京科学大2年	金鷲旗大会(2014)団体優勝、全国高校大会(2014)5位
西願寺里保＊	淑徳高校3年	関東高校大会(2016)優勝、全国高校大会(2016)準優勝
西願寺哲平＊	埼玉栄高校1年	全国中学校大会(2015)優勝、アジアカデ大会(2016)優勝
西願寺颶	埼玉栄中学1年	沖永荘一杯学年別東京大会(2015)準優勝

行ってみましたか？

喜多見農業公園



喜多見4-16-25、稲荷塚古墳の斜め向かいです

奥まっているので通りからは直接見えませんが、ちょっと中へ入ってみてください。喜多見らしい農の風景が広がっています。畑の周りには、ザクロ、花柚子、カキノキなどを植え、地元農家から露(フキ)・茗荷(ミョウガ)等も移植しました。

「農作業について学ぶ講習会」は、地元農家の指導を受けながら、土づくりから収穫まで、一連の農作業を体験してもらうものです。年間7回の開催予定で、中盤にさしかかりました。冬野菜の種まきや秋野菜の栽培も行われています。特に大根は、大蔵大根の原種が手に入り、播種(はしゅ、種まき)しました。

また、都市の伐採された樹木を有効活用している「街の木を活かすものづくりの会」により、近隣の街の木を利用して喜多見農業公園の看板などを作るワークショップも開催しました。その時に作られた看板があちこちに立てられていて、とてもステキです。

今後は、サツマイモや、小松菜、大根などの収穫体験イベントが、野菜の生育に合わせて行われる予定です。

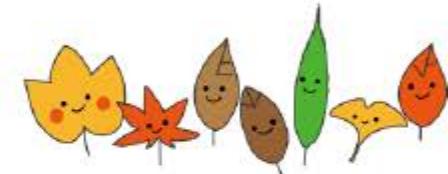
INFORMATION

事前調査＆ごみ拾い

[日時] 10月23日(日) 8:00～10:00
[持物] 長靴、ゴム手袋

秋の野川ガサガサ

[日時] 10月29日(土) 10:00～12:00
[持物] 長靴または濡れてもいい靴
[申込] 喜多見児童館 tel. 3417-9151
※ どちらも次大夫堀公園築山横の野川階段集合



緑を増やそう！ みどりの物々交換会

今年度ポンボコは「喜多見らしい風景をつくろう！」をテーマに活動しています。みどりは風景の大切な要素です。そこで、ご家庭で増えて困っている・余っている植物を持ち寄っていただき、欲しい人に無料で差し上げる場を設けます。ご協力をお願い致します。

[日時] 11月3日(祝) 9:30～11:30

持ち寄り受付は10:00まで

[場所] 区民まつり会場(喜多見中学校校庭の啓発コーナー)

[募集] 植物の苗や種、観葉植物もOK

※ できるだけ、植物の名前を書き添え、持ち帰りやすい形状でお持ちください。余ったものはポンボコのほうで処分しますが、終了時間頃に来ていただければお返しします。